

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	濃縮個別 52 R0
提出年月日	令和 3 年 10 月 1 日

仕様表に係る補足説明資料

目 次

1. 概要 1
2. 仕様表の記載内容の整理 1

別紙 1 機種別の仕様表の記載方針

1. 概要

本資料は、全社の共通 06 の仕様表の記載方針及びこれまでの濃縮個別ヒアリングにおける技術基準への適合説明の結果等を踏まえ、仕様表の記載内容を整理したものである。

2. 仕様表の記載内容の整理

今回の第 5 回申請に係る仕様表の記載内容について、共通 06 で機種別に整理した基本的な記載パターンを基に、濃縮の既認可の記載事項、事業変更許可申請書及び技術基準規則（様式-6, 7）の要求事項及び発電炉の要目表の記載事項を考慮して、記載すべき事項を整理した。

今回の第 5 回申請に係る機種別の仕様表の記載方針を別紙 1 に示す。

なお、第 4 回申請にて既出の機種（容器、ポンプ、主配管、機械装置、計装設備、ファン、フィルタ、放管設備）については、第 4 回申請時の濃縮個別 03-4 にて記載方針を示しているため、今回は第 5 回申請で新たに申請する機種（容器（塔型）、容器（ライニング型）、建物・構築物（堰）、飛来物防護設備、ラック、溢水防護設備、搬送設備、核物質等取扱ボックス）の記載方針を示す。

別紙 1

機種別の仕様表の記載方針

機種別の仕様表の記載の考え方（概念図）

共通06 添付-6 仕様表展開表

添付-6 (1/5)

仕様表展開表						仕様表展開表																																																		
機種別	機種別 (付添)	当該機種の元となる機種	D設備	IA設備	関係する自治体等機種 (付添)	機種別 (付添)	備考欄	備考欄	仕様表展開表																																															
									安全衛生	環境	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生	労働安全衛生	労働衛生												
1	濃縮 (濃縮機)	濃縮機	濃縮機	濃縮機	濃縮機	濃縮機	濃縮機	機器仕様	●●●●●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●												
								機器仕様	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
								機器仕様	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
								機器仕様	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
2	濃縮 (濃縮機)	濃縮機	濃縮機	濃縮機	濃縮機	濃縮機	濃縮機	機器仕様	●●●●●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
								機器仕様	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
								機器仕様	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
								機器仕様	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

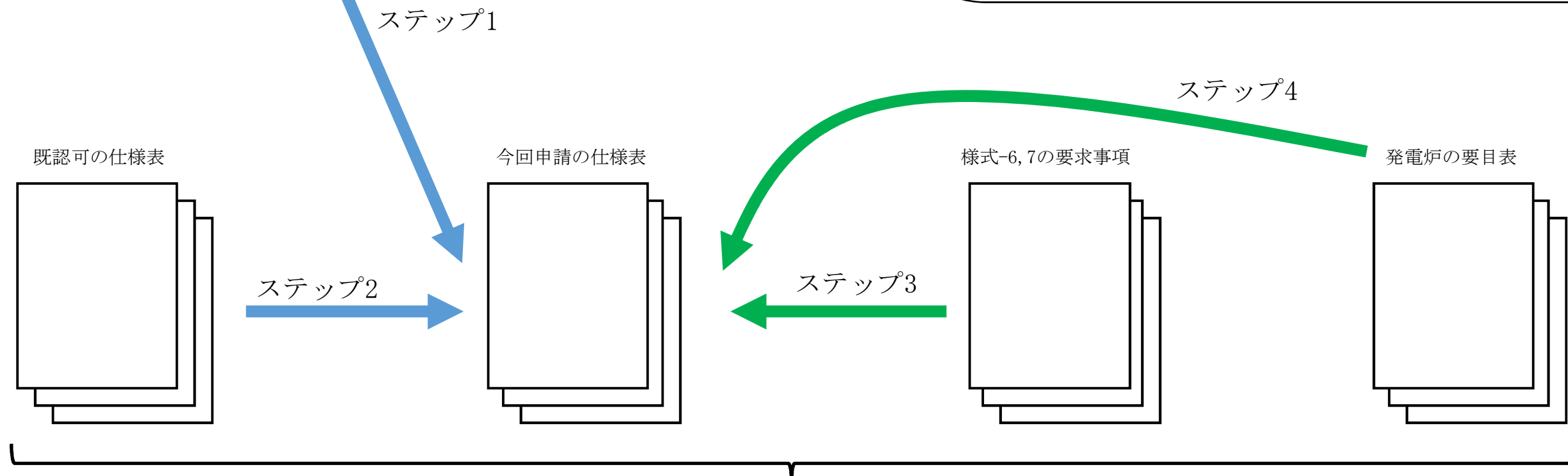
【考え方】

ステップ1：共通06（R4）の仕様表展開表（基本フォーマット）（2021/7/2提出版）を基に、濃縮の機種ごとの仕様表項目を選定する。（基本的な仕様表項目は共通06と同様とするが、濃縮施設の特徴を踏まえ、一部適用されないもの（化学薬品に対する防護、容器の伝熱面積等）を除く。）
 全社と濃縮の仕様表展開表の比較を添付資料2に示す。
 また、原則、機種ごとの仕様表展開表（基本フォーマット）に基づき、仕様表項目を記載するが、個別機器において該当しない（「-」となる）場合には、注記にて「-」とした理由を付す。（仕様表展開表で容器の臨界管理を対象としているが、ウランを取り扱わない機器などは「-」とし、その理由を注記で付す。）

ステップ2：ステップ1の仕様表記載項目に加え、既認可仕様表を確認し、他に追加しなければならない項目を抽出する。

ステップ3：新規基準を受けて追加になった設計により仕様表に追加すべき項目がないか、要求事項を満足するために必要な仕様が抜けなく反映されているかを確認するために様式-6,7の要求事項を確認し、追加が必要な項目を抽出する。

ステップ4：発電炉の要目表と比較し、当該機種のパフォーマンス、機能を示すうえで必要な項目が抜けなく選定されていることを確認する。



添付資料1 機種別の仕様表記載例に示す

仕様表記載項目【機種 No. 2 : 容器 (塔型)】(洗缶廃水貯槽)

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																															
<p>【認可番号：平成 24 年 8 月 31 日付け 20120717 原第 21 号】</p> <p>表-1 液体廃棄物の廃棄設備の仕様 (洗缶廃水貯槽) (1/2)</p> <table border="1"> <tr> <td>許可番号 (日付)</td> <td>平成 20-12-16 原第 3 号 (平成 22 年 1 月 21 日付け)</td> </tr> <tr> <td>主要な設備及び機器の種類</td> <td>放射性廃棄物の廃棄施設</td> </tr> <tr> <td>許可との対応</td> <td>上記施設の構成機器</td> </tr> <tr> <td>設備・機器名称</td> <td>液体廃棄物の廃棄設備</td> </tr> <tr> <td>設備・機器の区分</td> <td>本体</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>除染室</td> </tr> <tr> <td>機器名</td> <td>洗缶廃水貯槽</td> </tr> <tr> <td>変更内容</td> <td>(機器本体は、今回の更新対象外であり、既認可申請書 (元安 (核規) 第 376 号 (平成元年 8 月 17 日付け)) から変更なし)</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>4 基</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>円筒たて型 (密閉構造)</td> </tr> <tr> <td>主要な構造材</td> <td>胴本体、ふた、底板：炭素鋼 (SS400+α'α'α'α')</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>外径：約 460 mm (内径：450 mm) 高さ：約 1000 mm</td> </tr> <tr> <td>温度、圧力</td> <td>温度：常温 圧力：常圧</td> </tr> <tr> <td>その他の構成機器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の状態</td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>放射性廃水</td> </tr> </table> <p>*：一般仕様欄、技術基準に対する仕様欄は、既認可申請書の記載内容 (最新の規格等を反映) を転記し、一般仕様欄は今回の更新による仕様変更点に下線を付し、技術基準に対する仕様欄は今回の更新による更新後の機器・機能に対して検査を行う箇所に下線を付している。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>主要設備リスト、添付図面で展開。</p> <p>表-1 液体廃棄物の廃棄設備の仕様 (洗缶廃水貯槽) (2/2)</p> <table border="1"> <tr> <td>核燃料物質の臨界防止</td> <td></td> </tr> <tr> <td>火災等による損傷の防止</td> <td>耐震重要度分類：第 2 類</td> </tr> <tr> <td>耐震性</td> <td>基礎ボルト/据付ボルト ・材質：炭素鋼 (SS400) / 炭素鋼 (SS400) ・呼び径：M16/M16</td> </tr> <tr> <td>材料及び構造</td> <td>主要材料は適当な圧力に対して必要な強度を有する炭素鋼 (SS400) を使用し、接液部は、液体廃棄物に対して耐食性を有するゴムライニングを使用する。</td> </tr> <tr> <td>閉じ込めの機能</td> <td>液体廃棄物の施設外への漏えいを防止するため、堀内に設置する。</td> </tr> <tr> <td>換気</td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質等による汚染の防止</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全上重要な施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警報設備等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃棄施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線管理施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用電源設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他事業許可で求める仕様</td> <td>設備・機器は不燃性又は難燃性材料を主として使用する。</td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-1、5 5</td> </tr> </table> <p>*：一般仕様欄、技術基準に対する仕様欄は、既認可申請書の記載内容 (最新の規格等を反映) を転記し、一般仕様欄は今回の更新による仕様変更点に下線を付し、技術基準に対する仕様欄は今回の更新による更新後の機器・機能に対して検査を行う箇所に下線を付している。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>基本設計方針で展開。</p>	許可番号 (日付)	平成 20-12-16 原第 3 号 (平成 22 年 1 月 21 日付け)	主要な設備及び機器の種類	放射性廃棄物の廃棄施設	許可との対応	上記施設の構成機器	設備・機器名称	液体廃棄物の廃棄設備	設備・機器の区分	本体	設置場所	除染室	機器名	洗缶廃水貯槽	変更内容	(機器本体は、今回の更新対象外であり、既認可申請書 (元安 (核規) 第 376 号 (平成元年 8 月 17 日付け)) から変更なし)	台数	4 基	型式	円筒たて型 (密閉構造)	主要な構造材	胴本体、ふた、底板：炭素鋼 (SS400+α'α'α'α')	寸法	外径：約 460 mm (内径：450 mm) 高さ：約 1000 mm	温度、圧力	温度：常温 圧力：常圧	その他の構成機器		その他の状態		核燃料物質の状態	放射性廃水	核燃料物質の臨界防止		火災等による損傷の防止	耐震重要度分類：第 2 類	耐震性	基礎ボルト/据付ボルト ・材質：炭素鋼 (SS400) / 炭素鋼 (SS400) ・呼び径：M16/M16	材料及び構造	主要材料は適当な圧力に対して必要な強度を有する炭素鋼 (SS400) を使用し、接液部は、液体廃棄物に対して耐食性を有するゴムライニングを使用する。	閉じ込めの機能	液体廃棄物の施設外への漏えいを防止するため、堀内に設置する。	換気		核燃料物質等による汚染の防止		安全上重要な施設		搬送設備		警報設備等		廃棄施設		放射線管理施設		非常用電源設備		その他事業許可で求める仕様	設備・機器は不燃性又は難燃性材料を主として使用する。	添付図	図-1、5 5	<p>1. 設計条件及び仕様</p> <p>1.1 液体廃棄物の廃棄設備</p> <p>1.1.1 管理廃水処理設備</p> <p>(1) 高放射性廃水処理系</p> <p>a. 容器 (塔型)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>洗缶廃水貯槽^{*8}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>円筒たて型 (密閉構造)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量^{*3}</td> <td>0.4^{*9}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td>—^{*10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*4}</td> <td>静水頭</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*4}</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*5}</td> <td>ウラン廃水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—^{*11}</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>450^{*12}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1000^{*12}</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>4.5^{*12}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴本体</td> <td>—</td> <td>SS400 + ゴムライニング (内張)</td> </tr> <tr> <td>ふた</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底板</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>基</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>高放射性廃水処理系^{*9}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*7}</td> <td>—</td> <td>除染室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <p>*1：記載の適正化。既設工認には「機器名」と記載。</p> <p>*2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。</p> <p>*3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。</p> <p>*4：記載の適正化。既設工認には「温度、圧力」と記載。</p> <p>*5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。</p> <p>*6：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。</p> <p>*7：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。</p> <p>*8：液体廃棄物の施設外への漏えいを防止するため、堀内に設置する。</p> <p>*9：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p>*10：捕集効率等の能力を有する機器ではないため「—」とする。</p> <p>*11：高放射性廃水処理系のウラン廃水は、洗缶設備の空のシリンダ類 (16 kg-U 以下) の洗浄水であり、臨界管理の対象外であるため、「—」とする。</p> <p>*12：公称値を示す。</p>		変更前	変更後	名称 ^{*1}	洗缶廃水貯槽 ^{*8}		種類 ^{*2}	円筒たて型 (密閉構造)		容量 ^{*3}	0.4 ^{*9}		効率	— ^{*10}		最高使用圧力 ^{*4}	静水頭		最高使用温度 ^{*4}	40		流体等の種類 ^{*5}	ウラン廃水		臨界管理	—	— ^{*11}	主要寸法			胴内径	mm	450 ^{*12}	高さ	mm	1000 ^{*12}	胴板厚さ	mm	4.5 ^{*12}	主要材料			胴本体	—	SS400 + ゴムライニング (内張)	ふた	—		底板	—		個数	基	4	取付箇所			系統名 (ライン名)	—	高放射性廃水処理系 ^{*9}	設置床 (室名称) ^{*7}	—	除染室	<p>要求事項の整理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十条</td> <td>閉じ込めの機能</td> <td>ウランを内包する設備及び機器は、放射性物質を密封して取り扱うことにより、閉じ込め機能を確保するため以下のとおりの設計とする。 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF₆等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。</td> </tr> <tr> <td>第十一条</td> <td>火災等の発生防止</td> <td>UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> </tr> <tr> <td>第十五条</td> <td>材料及び構造</td> <td>(1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第十条	閉じ込めの機能	ウランを内包する設備及び機器は、放射性物質を密封して取り扱うことにより、閉じ込め機能を確保するため以下のとおりの設計とする。 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF ₆ 等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。	第十一条	火災等の発生防止	UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	第十五条	材料及び構造	(1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。	<p>発電炉類似設備要目表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>名</td> <td>復水脱塩系 陽イオン樹脂再生塔^{*1}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>たて圓筒形^{*2} 陽イオン樹脂 (3900^{*3}) (復水脱塩系樹脂)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高 使 用 圧 力</td> <td>MPa</td> <td>0.69^{*4}</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主</td> <td>胴 内 径^{*5}</td> <td>mm</td> <td>2200^{*3}</td> </tr> <tr> <td>胴 板 厚 さ^{*6}</td> <td>mm</td> <td>(12^{*3})</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ (上部鏡板)^{*8}</td> <td>mm</td> <td>(12^{*3})</td> </tr> <tr> <td>鏡板の形状に係る寸法 (上部鏡板)</td> <td>mm</td> <td>2200^{*3, *7} (鏡板長径) 550^{*3, *7} (鏡板短径の2分の1)</td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ (下部鏡板)^{*9}</td> <td>mm</td> <td>(19^{*3})</td> </tr> <tr> <td>鏡板の形状に係る寸法 (下部鏡板)</td> <td>mm</td> <td>2200^{*3, *7} (鏡板長径) 550^{*3, *7} (鏡板短径の2分の1)</td> </tr> <tr> <td>視 窓 管 台 外 径</td> <td>mm</td> <td>430^{*3, *7}</td> </tr> <tr> <td>視 窓 管 台 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>(45^{*3, *7})</td> </tr> <tr> <td>樹 脂 入 口 管 台 外 径</td> <td>mm</td> <td>114.3^{*3, *7}</td> </tr> <tr> <td>樹 脂 入 口 管 台 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>(8.6^{*3, *7})</td> </tr> <tr> <td>陽イオン樹脂出口管台外径</td> <td>mm</td> <td>89.1^{*3, *7}</td> </tr> <tr> <td>陽イオン樹脂出口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>(7.6^{*3, *7})</td> </tr> <tr> <td>マンホール外径</td> <td>mm</td> <td>468^{*3, *7}</td> </tr> <tr> <td>マンホール厚さ</td> <td>mm</td> <td>(9^{*3, *7})</td> </tr> <tr> <td>マンホール平板厚さ</td> <td>mm</td> <td>(35^{*3, *7})</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>4781^{*3, *10}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材</td> <td>胴 板^{*11}</td> <td>—</td> <td>SB42^{*12}</td> </tr> <tr> <td>上 部 鏡 板^{*13}</td> <td>—</td> <td>SB42^{*14}</td> </tr> <tr> <td>下 部 鏡 板^{*12}</td> <td>—</td> <td>SB42^{*14}</td> </tr> <tr> <td>マ ン ホ ー ル</td> <td>—</td> <td>SB42^{*7}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <p>*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「陽イオン樹脂再生塔」と記載。</p> <p>*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「縦型円筒圧力式」と記載。</p> <p>*3：公称値を示す。</p> <p>*4：S 1 単位に換算したもの。</p> <p>*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。</p>	名称		変更前	変更後	種	名	復水脱塩系 陽イオン樹脂再生塔 ^{*1}		容	量	たて圓筒形 ^{*2} 陽イオン樹脂 (3900 ^{*3}) (復水脱塩系樹脂)		最	高 使 用 圧 力	MPa	0.69 ^{*4}	最	高 使 用 温 度	℃	60	主	胴 内 径 ^{*5}	mm	2200 ^{*3}	胴 板 厚 さ ^{*6}	mm	(12 ^{*3})	鏡板厚さ (上部鏡板) ^{*8}	mm	(12 ^{*3})	鏡板の形状に係る寸法 (上部鏡板)	mm	2200 ^{*3, *7} (鏡板長径) 550 ^{*3, *7} (鏡板短径の2分の1)	鏡板厚さ (下部鏡板) ^{*9}	mm	(19 ^{*3})	鏡板の形状に係る寸法 (下部鏡板)	mm	2200 ^{*3, *7} (鏡板長径) 550 ^{*3, *7} (鏡板短径の2分の1)	視 窓 管 台 外 径	mm	430 ^{*3, *7}	視 窓 管 台 厚 さ	mm	(45 ^{*3, *7})	樹 脂 入 口 管 台 外 径	mm	114.3 ^{*3, *7}	樹 脂 入 口 管 台 厚 さ	mm	(8.6 ^{*3, *7})	陽イオン樹脂出口管台外径	mm	89.1 ^{*3, *7}	陽イオン樹脂出口管台厚さ	mm	(7.6 ^{*3, *7})	マンホール外径	mm	468 ^{*3, *7}	マンホール厚さ	mm	(9 ^{*3, *7})	マンホール平板厚さ	mm	(35 ^{*3, *7})	高 さ	mm	4781 ^{*3, *10}	材	胴 板 ^{*11}	—	SB42 ^{*12}	上 部 鏡 板 ^{*13}	—	SB42 ^{*14}	下 部 鏡 板 ^{*12}	—	SB42 ^{*14}	マ ン ホ ー ル	—	SB42 ^{*7}	個	数	—	1	<p>備考</p>
許可番号 (日付)	平成 20-12-16 原第 3 号 (平成 22 年 1 月 21 日付け)																																																																																																																																																																																																																																		
主要な設備及び機器の種類	放射性廃棄物の廃棄施設																																																																																																																																																																																																																																		
許可との対応	上記施設の構成機器																																																																																																																																																																																																																																		
設備・機器名称	液体廃棄物の廃棄設備																																																																																																																																																																																																																																		
設備・機器の区分	本体																																																																																																																																																																																																																																		
設置場所	除染室																																																																																																																																																																																																																																		
機器名	洗缶廃水貯槽																																																																																																																																																																																																																																		
変更内容	(機器本体は、今回の更新対象外であり、既認可申請書 (元安 (核規) 第 376 号 (平成元年 8 月 17 日付け)) から変更なし)																																																																																																																																																																																																																																		
台数	4 基																																																																																																																																																																																																																																		
型式	円筒たて型 (密閉構造)																																																																																																																																																																																																																																		
主要な構造材	胴本体、ふた、底板：炭素鋼 (SS400+α'α'α'α')																																																																																																																																																																																																																																		
寸法	外径：約 460 mm (内径：450 mm) 高さ：約 1000 mm																																																																																																																																																																																																																																		
温度、圧力	温度：常温 圧力：常圧																																																																																																																																																																																																																																		
その他の構成機器																																																																																																																																																																																																																																			
その他の状態																																																																																																																																																																																																																																			
核燃料物質の状態	放射性廃水																																																																																																																																																																																																																																		
核燃料物質の臨界防止																																																																																																																																																																																																																																			
火災等による損傷の防止	耐震重要度分類：第 2 類																																																																																																																																																																																																																																		
耐震性	基礎ボルト/据付ボルト ・材質：炭素鋼 (SS400) / 炭素鋼 (SS400) ・呼び径：M16/M16																																																																																																																																																																																																																																		
材料及び構造	主要材料は適当な圧力に対して必要な強度を有する炭素鋼 (SS400) を使用し、接液部は、液体廃棄物に対して耐食性を有するゴムライニングを使用する。																																																																																																																																																																																																																																		
閉じ込めの機能	液体廃棄物の施設外への漏えいを防止するため、堀内に設置する。																																																																																																																																																																																																																																		
換気																																																																																																																																																																																																																																			
核燃料物質等による汚染の防止																																																																																																																																																																																																																																			
安全上重要な施設																																																																																																																																																																																																																																			
搬送設備																																																																																																																																																																																																																																			
警報設備等																																																																																																																																																																																																																																			
廃棄施設																																																																																																																																																																																																																																			
放射線管理施設																																																																																																																																																																																																																																			
非常用電源設備																																																																																																																																																																																																																																			
その他事業許可で求める仕様	設備・機器は不燃性又は難燃性材料を主として使用する。																																																																																																																																																																																																																																		
添付図	図-1、5 5																																																																																																																																																																																																																																		
	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																	
名称 ^{*1}	洗缶廃水貯槽 ^{*8}																																																																																																																																																																																																																																		
種類 ^{*2}	円筒たて型 (密閉構造)																																																																																																																																																																																																																																		
容量 ^{*3}	0.4 ^{*9}																																																																																																																																																																																																																																		
効率	— ^{*10}																																																																																																																																																																																																																																		
最高使用圧力 ^{*4}	静水頭																																																																																																																																																																																																																																		
最高使用温度 ^{*4}	40																																																																																																																																																																																																																																		
流体等の種類 ^{*5}	ウラン廃水																																																																																																																																																																																																																																		
臨界管理	—	— ^{*11}																																																																																																																																																																																																																																	
主要寸法																																																																																																																																																																																																																																			
胴内径	mm	450 ^{*12}																																																																																																																																																																																																																																	
高さ	mm	1000 ^{*12}																																																																																																																																																																																																																																	
胴板厚さ	mm	4.5 ^{*12}																																																																																																																																																																																																																																	
主要材料																																																																																																																																																																																																																																			
胴本体	—	SS400 + ゴムライニング (内張)																																																																																																																																																																																																																																	
ふた	—																																																																																																																																																																																																																																		
底板	—																																																																																																																																																																																																																																		
個数	基	4																																																																																																																																																																																																																																	
取付箇所																																																																																																																																																																																																																																			
系統名 (ライン名)	—	高放射性廃水処理系 ^{*9}																																																																																																																																																																																																																																	
設置床 (室名称) ^{*7}	—	除染室																																																																																																																																																																																																																																	
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																	
第十条	閉じ込めの機能	ウランを内包する設備及び機器は、放射性物質を密封して取り扱うことにより、閉じ込め機能を確保するため以下のとおりの設計とする。 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF ₆ 等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。																																																																																																																																																																																																																																	
第十一条	火災等の発生防止	UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。																																																																																																																																																																																																																																	
第十五条	材料及び構造	(1) 機械的強度及び化学的成分 容器等に使用する材料は、その使用される圧力、温度、荷重その他の使用条件に対して適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用する。																																																																																																																																																																																																																																	
名称		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																
種	名	復水脱塩系 陽イオン樹脂再生塔 ^{*1}																																																																																																																																																																																																																																	
容	量	たて圓筒形 ^{*2} 陽イオン樹脂 (3900 ^{*3}) (復水脱塩系樹脂)																																																																																																																																																																																																																																	
最	高 使 用 圧 力	MPa	0.69 ^{*4}																																																																																																																																																																																																																																
最	高 使 用 温 度	℃	60																																																																																																																																																																																																																																
主	胴 内 径 ^{*5}	mm	2200 ^{*3}																																																																																																																																																																																																																																
	胴 板 厚 さ ^{*6}	mm	(12 ^{*3})																																																																																																																																																																																																																																
	鏡板厚さ (上部鏡板) ^{*8}	mm	(12 ^{*3})																																																																																																																																																																																																																																
	鏡板の形状に係る寸法 (上部鏡板)	mm	2200 ^{*3, *7} (鏡板長径) 550 ^{*3, *7} (鏡板短径の2分の1)																																																																																																																																																																																																																																
	鏡板厚さ (下部鏡板) ^{*9}	mm	(19 ^{*3})																																																																																																																																																																																																																																
	鏡板の形状に係る寸法 (下部鏡板)	mm	2200 ^{*3, *7} (鏡板長径) 550 ^{*3, *7} (鏡板短径の2分の1)																																																																																																																																																																																																																																
	視 窓 管 台 外 径	mm	430 ^{*3, *7}																																																																																																																																																																																																																																
	視 窓 管 台 厚 さ	mm	(45 ^{*3, *7})																																																																																																																																																																																																																																
	樹 脂 入 口 管 台 外 径	mm	114.3 ^{*3, *7}																																																																																																																																																																																																																																
	樹 脂 入 口 管 台 厚 さ	mm	(8.6 ^{*3, *7})																																																																																																																																																																																																																																
陽イオン樹脂出口管台外径	mm	89.1 ^{*3, *7}																																																																																																																																																																																																																																	
陽イオン樹脂出口管台厚さ	mm	(7.6 ^{*3, *7})																																																																																																																																																																																																																																	
マンホール外径	mm	468 ^{*3, *7}																																																																																																																																																																																																																																	
マンホール厚さ	mm	(9 ^{*3, *7})																																																																																																																																																																																																																																	
マンホール平板厚さ	mm	(35 ^{*3, *7})																																																																																																																																																																																																																																	
高 さ	mm	4781 ^{*3, *10}																																																																																																																																																																																																																																	
材	胴 板 ^{*11}	—	SB42 ^{*12}																																																																																																																																																																																																																																
	上 部 鏡 板 ^{*13}	—	SB42 ^{*14}																																																																																																																																																																																																																																
	下 部 鏡 板 ^{*12}	—	SB42 ^{*14}																																																																																																																																																																																																																																
	マ ン ホ ー ル	—	SB42 ^{*7}																																																																																																																																																																																																																																
個	数	—	1																																																																																																																																																																																																																																

【凡例】

- ：今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項 (様式-6,7 等) が整合している項目
- ：既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を吹き出しにて記載)
- ：新規基準に係る新たな要求事項 (様式-6,7 等) として仕様表に追加した項目
- ：発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目 (反映しない理由を備考に記載)

仕様表記載項目【機種 No.3 : 容器 (ライニング型)】(分析廃水ピット)

既認可の仕様表		仕様表		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表			備考																																																																																																																																																																																		
<p>【認可番号：平成 24 年 8 月 31 日付け 20120717 原第 21 号】</p> <p>表-6 液体廃棄物の廃棄設備の仕様 (分析廃水ピット)</p> <table border="1"> <tr> <td>許可番号 (日付)</td> <td>平成 20・12・16 原第 3 号 (平成 22 年 1 月 21 日付け)</td> </tr> <tr> <td>主要な設備及び機器の種類</td> <td>放射性廃棄物の廃棄施設</td> </tr> <tr> <td>許可との対応</td> <td>上記施設の構成機器</td> </tr> <tr> <td>設備・機器名称</td> <td>液体廃棄物の廃棄設備</td> </tr> <tr> <td>設備・機器の区分</td> <td>本体</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>分析室</td> </tr> <tr> <td>機器名</td> <td>分析廃水ピット</td> </tr> <tr> <td>変更内容</td> <td>漏えい防止機能更新 (警報機能) (機器本体は、今回の更新対象外であり、既認可申請書 (元安 (核規) 第 376 号 (平成元年 8 月 17 日付け) から変更なし))</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1 基</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>地下式</td> </tr> <tr> <td>主要な構造材</td> <td>コンクリート (ガラス繊維強化プラスチック (FRP) ライニング)</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>幅：約 600 mm 奥行：約 600 mm 深さ：約 1000 mm</td> </tr> <tr> <td>温度、圧力</td> <td>温度：常温 圧力：常圧</td> </tr> <tr> <td>その他の構成機器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の性能</td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>放射性廃水</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の漏えい防止</td> <td></td> </tr> <tr> <td>火災等による損傷の防止</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震性</td> <td>耐震重要度分類：第 3 類 (建物 (第 2 類) の一部として設計)</td> </tr> <tr> <td>材料及び構造</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉じ込めの機能</td> <td></td> </tr> <tr> <td>しゃへい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>換気</td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質等による汚染の防止</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全上重要な施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>搬送設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警報設備等</td> <td>漏えいを防止するため、警報を発生する液面計を設ける。本警報機能を図-7 0 に示す。</td> </tr> <tr> <td>廃棄施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線管理施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用電源設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他事業許可で求める仕様</td> <td>設備・機器は不燃性又は難燃性材料を主として使用する。</td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-6、59、64</td> </tr> </table>		許可番号 (日付)	平成 20・12・16 原第 3 号 (平成 22 年 1 月 21 日付け)	主要な設備及び機器の種類	放射性廃棄物の廃棄施設	許可との対応	上記施設の構成機器	設備・機器名称	液体廃棄物の廃棄設備	設備・機器の区分	本体	設置場所	分析室	機器名	分析廃水ピット	変更内容	漏えい防止機能更新 (警報機能) (機器本体は、今回の更新対象外であり、既認可申請書 (元安 (核規) 第 376 号 (平成元年 8 月 17 日付け) から変更なし))	台数	1 基	型式	地下式	主要な構造材	コンクリート (ガラス繊維強化プラスチック (FRP) ライニング)	寸法	幅：約 600 mm 奥行：約 600 mm 深さ：約 1000 mm	温度、圧力	温度：常温 圧力：常圧	その他の構成機器		その他の性能		核燃料物質の状態	放射性廃水	核燃料物質の漏えい防止		火災等による損傷の防止		耐震性	耐震重要度分類：第 3 類 (建物 (第 2 類) の一部として設計)	材料及び構造		閉じ込めの機能		しゃへい		換気		核燃料物質等による汚染の防止		安全上重要な施設		搬送設備		警報設備等	漏えいを防止するため、警報を発生する液面計を設ける。本警報機能を図-7 0 に示す。	廃棄施設		放射線管理施設		非常用電源設備		その他事業許可で求める仕様	設備・機器は不燃性又は難燃性材料を主として使用する。	添付図	図-6、59、64	<p>b. 容器 (ライニング型)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>-</td> <td>分析廃水ピット^{*7,9}</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>-</td> <td>地下式</td> </tr> <tr> <td>容量^{*3}</td> <td>m³</td> <td>0.12^{*9}</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*4}</td> <td>-</td> <td>ウラン廃水</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>-</td> <td>-^{*10}</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>600^{*11}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>600^{*11}</td> </tr> <tr> <td>深さ</td> <td>mm</td> <td>987^{*11}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td>コンクリート + FRP ライニング (内張)</td> </tr> <tr> <td>ピット本体</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>個数^{*5}</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>低放射性廃水処理系^{*9}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*6}</td> <td>-</td> <td>分析室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> *1：記載の適正化。既設工認には「機器名」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *7：本機器は、漏えい防止機能 (廃水液面異常高警報) を有する設計とする。 *8：建物 (中央操作棟) の一部として設計する。 *9：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *10：低放射性廃水処理系のウラン廃水は、高放射性廃水処理系のウラン廃水の凝集・分離処理後のろ液や分析室の流し台等で発生する低濃度の廃水であり、臨界管理の対象外であるため、「-」とする。 *11：公称値を示す。 			変更前	変更後	名称 ^{*1}	-	分析廃水ピット ^{*7,9}	種類 ^{*2}	-	地下式	容量 ^{*3}	m ³	0.12 ^{*9}	流体等の種類 ^{*4}	-	ウラン廃水	臨界管理	-	- ^{*10}	主要寸法			たて	mm	600 ^{*11}	横	mm	600 ^{*11}	深さ	mm	987 ^{*11}	主要材料		コンクリート + FRP ライニング (内張)	ピット本体	-	-	個数 ^{*5}	基	1	取付箇所			系統名 (ライン名)	-	低放射性廃水処理系 ^{*9}	設置床 (室名称) ^{*6}	-	分析室	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>ウランを内包する設備及び機器は、放射性物質を密封して取り扱うことにより、閉じ込め機能を確保するため以下のとおり設計とする。 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF₆等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> </tbody> </table>		技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第十条 閉じ込めの機能	ウランを内包する設備及び機器は、放射性物質を密封して取り扱うことにより、閉じ込め機能を確保するため以下のとおり設計とする。 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF ₆ 等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。	主要材料	第十一条 火災等による損傷の防止	火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>使用済燃料プール^{*1}</td> <td>使用済燃料プール^{*13}</td> </tr> <tr> <td>容積</td> <td>ステンレス鋼内張りプール形 (ラック貯蔵方式)</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>燃料集合体</td> <td>2250</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御棒本数</td> <td>186</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>主たる寸法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>10363^{*2, *3, *4}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>12192^{*2, *3, *5}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>深さ</td> <td>11913^{*2, *6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ライニング材厚さ^{*7}</td> <td>(6^{*2, *9}), (12^{*2, *8, *12})</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁厚</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>東</td> <td>2154^{*2, *9, *10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西</td> <td>2154^{*2, *9, *10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>南</td> <td>1570^{*2, *9, *10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>北</td> <td>2000^{*2, *9, *10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底</td> <td>1599^{*2, *9, *10}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ライニング材^{*11}</td> <td>SUS304</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>鉄筋コンクリート^{*8}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「使用済燃料貯蔵プール」と記載。 *2：公称値を示す。 *3：使用済燃料プール内径を示す。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「10.4 m」と記載。記載内容は設計図書による。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「12.2 m」と記載。記載内容は設計図書による。 *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「11.9 m」と記載。記載内容は設計図書による。 *7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内張り材厚さ (最小)」と記載。 *8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 48 年 4 月 9 日付け 47 公第 12076 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-5 原子炉建屋の強度計算書」による。 *9：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *10：内張り材を含む厚さを示す。 *11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内張り材」と記載。 *12：ゲート部の厚さを示す。 *13：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (代替燃料プール注水系、代替燃料プール冷却系) と兼用する。 			名	変更前	変更後	種類	使用済燃料プール ^{*1}	使用済燃料プール ^{*13}	容積	ステンレス鋼内張りプール形 (ラック貯蔵方式)	変更なし	燃料集合体	2250		制御棒本数	186	134	主たる寸法			高さ	10363 ^{*2, *3, *4}		横	12192 ^{*2, *3, *5}		深さ	11913 ^{*2, *6}		ライニング材厚さ ^{*7}	(6 ^{*2, *9}), (12 ^{*2, *8, *12})		壁厚			東	2154 ^{*2, *9, *10}		西	2154 ^{*2, *9, *10}		南	1570 ^{*2, *9, *10}		北	2000 ^{*2, *9, *10}		底	1599 ^{*2, *9, *10}		ライニング材 ^{*11}	SUS304		壁	鉄筋コンクリート ^{*8}		個数	1		<p>備考</p>
許可番号 (日付)	平成 20・12・16 原第 3 号 (平成 22 年 1 月 21 日付け)																																																																																																																																																																																										
主要な設備及び機器の種類	放射性廃棄物の廃棄施設																																																																																																																																																																																										
許可との対応	上記施設の構成機器																																																																																																																																																																																										
設備・機器名称	液体廃棄物の廃棄設備																																																																																																																																																																																										
設備・機器の区分	本体																																																																																																																																																																																										
設置場所	分析室																																																																																																																																																																																										
機器名	分析廃水ピット																																																																																																																																																																																										
変更内容	漏えい防止機能更新 (警報機能) (機器本体は、今回の更新対象外であり、既認可申請書 (元安 (核規) 第 376 号 (平成元年 8 月 17 日付け) から変更なし))																																																																																																																																																																																										
台数	1 基																																																																																																																																																																																										
型式	地下式																																																																																																																																																																																										
主要な構造材	コンクリート (ガラス繊維強化プラスチック (FRP) ライニング)																																																																																																																																																																																										
寸法	幅：約 600 mm 奥行：約 600 mm 深さ：約 1000 mm																																																																																																																																																																																										
温度、圧力	温度：常温 圧力：常圧																																																																																																																																																																																										
その他の構成機器																																																																																																																																																																																											
その他の性能																																																																																																																																																																																											
核燃料物質の状態	放射性廃水																																																																																																																																																																																										
核燃料物質の漏えい防止																																																																																																																																																																																											
火災等による損傷の防止																																																																																																																																																																																											
耐震性	耐震重要度分類：第 3 類 (建物 (第 2 類) の一部として設計)																																																																																																																																																																																										
材料及び構造																																																																																																																																																																																											
閉じ込めの機能																																																																																																																																																																																											
しゃへい																																																																																																																																																																																											
換気																																																																																																																																																																																											
核燃料物質等による汚染の防止																																																																																																																																																																																											
安全上重要な施設																																																																																																																																																																																											
搬送設備																																																																																																																																																																																											
警報設備等	漏えいを防止するため、警報を発生する液面計を設ける。本警報機能を図-7 0 に示す。																																																																																																																																																																																										
廃棄施設																																																																																																																																																																																											
放射線管理施設																																																																																																																																																																																											
非常用電源設備																																																																																																																																																																																											
その他事業許可で求める仕様	設備・機器は不燃性又は難燃性材料を主として使用する。																																																																																																																																																																																										
添付図	図-6、59、64																																																																																																																																																																																										
	変更前	変更後																																																																																																																																																																																									
名称 ^{*1}	-	分析廃水ピット ^{*7,9}																																																																																																																																																																																									
種類 ^{*2}	-	地下式																																																																																																																																																																																									
容量 ^{*3}	m ³	0.12 ^{*9}																																																																																																																																																																																									
流体等の種類 ^{*4}	-	ウラン廃水																																																																																																																																																																																									
臨界管理	-	- ^{*10}																																																																																																																																																																																									
主要寸法																																																																																																																																																																																											
たて	mm	600 ^{*11}																																																																																																																																																																																									
横	mm	600 ^{*11}																																																																																																																																																																																									
深さ	mm	987 ^{*11}																																																																																																																																																																																									
主要材料		コンクリート + FRP ライニング (内張)																																																																																																																																																																																									
ピット本体	-	-																																																																																																																																																																																									
個数 ^{*5}	基	1																																																																																																																																																																																									
取付箇所																																																																																																																																																																																											
系統名 (ライン名)	-	低放射性廃水処理系 ^{*9}																																																																																																																																																																																									
設置床 (室名称) ^{*6}	-	分析室																																																																																																																																																																																									
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																									
第十条 閉じ込めの機能	ウランを内包する設備及び機器は、放射性物質を密封して取り扱うことにより、閉じ込め機能を確保するため以下のとおり設計とする。 ・ウランを内包する設備及び機器は、UF ₆ 等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用し、取扱い圧力に応じた耐圧気密性を確保して放射性物質の漏えいを防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																																																																																									
第十一条 火災等による損傷の防止	火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料 (鋼材) を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																																																																																									
名	変更前	変更後																																																																																																																																																																																									
種類	使用済燃料プール ^{*1}	使用済燃料プール ^{*13}																																																																																																																																																																																									
容積	ステンレス鋼内張りプール形 (ラック貯蔵方式)	変更なし																																																																																																																																																																																									
燃料集合体	2250																																																																																																																																																																																										
制御棒本数	186	134																																																																																																																																																																																									
主たる寸法																																																																																																																																																																																											
高さ	10363 ^{*2, *3, *4}																																																																																																																																																																																										
横	12192 ^{*2, *3, *5}																																																																																																																																																																																										
深さ	11913 ^{*2, *6}																																																																																																																																																																																										
ライニング材厚さ ^{*7}	(6 ^{*2, *9}), (12 ^{*2, *8, *12})																																																																																																																																																																																										
壁厚																																																																																																																																																																																											
東	2154 ^{*2, *9, *10}																																																																																																																																																																																										
西	2154 ^{*2, *9, *10}																																																																																																																																																																																										
南	1570 ^{*2, *9, *10}																																																																																																																																																																																										
北	2000 ^{*2, *9, *10}																																																																																																																																																																																										
底	1599 ^{*2, *9, *10}																																																																																																																																																																																										
ライニング材 ^{*11}	SUS304																																																																																																																																																																																										
壁	鉄筋コンクリート ^{*8}																																																																																																																																																																																										
個数	1																																																																																																																																																																																										

主要設備リストで展開。

該当しないため、記載を削除。

添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除

基本設計方針で展開。

仕様表記載項目【機種 No. 21：建物・構築物（堰）】（堰 A）

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																	
<p>【認可番号：平成元年 8 月 17 日付け 元安（核規）第 376 号】</p> <p>表-49 液体廃棄物の廃棄設備の仕様（堰）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td colspan="4">堰</td> <td>区分</td> <td>液体廃棄物の廃棄設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td colspan="6">一式</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>除染室</td> <td colspan="5">管理廃水処理室</td> </tr> <tr> <td>設計条件</td> <td colspan="6"> 臨界管理 放射線防護 耐震 第 2 類* 材料・構造 (温度、圧力) 主要設備リストで展開。 </td> </tr> <tr> <td>仕様</td> <td colspan="6"> 型式 主要寸法 堰A 内のり：1900 mm以上 × 5700 mm以上 高さ：150 mm以上 堰B 内のり：10000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ：25 mm以上 堰C 内のり：4200 mm以上 × 23000 mm以上 高さ：90 mm以上 堰D 内のり：16000 mm以上 × 40000 mm以上 高さ：30 mm以上 主要材料 コンクリート 性能 容量：0.64m³以上 容量：0.71m³以上 容量：5.87m³以上 容量：9.88m³以上 核燃料物質の状態 その他 *：建物の一部として設計している。 </td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td colspan="6">図-49、図-50</td> </tr> </table> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	設備機器名称	堰				区分	液体廃棄物の廃棄設備	台数	一式						設置場所	除染室	管理廃水処理室					設計条件	臨界管理 放射線防護 耐震 第 2 類* 材料・構造 (温度、圧力) 主要設備リストで展開。						仕様	型式 主要寸法 堰A 内のり：1900 mm以上 × 5700 mm以上 高さ：150 mm以上 堰B 内のり：10000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ：25 mm以上 堰C 内のり：4200 mm以上 × 23000 mm以上 高さ：90 mm以上 堰D 内のり：16000 mm以上 × 40000 mm以上 高さ：30 mm以上 主要材料 コンクリート 性能 容量：0.64m ³ 以上 容量：0.71m ³ 以上 容量：5.87m ³ 以上 容量：9.88m ³ 以上 核燃料物質の状態 その他 *：建物の一部として設計している。						添付図	図-49、図-50						<p>d. 建物・構築物</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>変更前</td> <td>変更後</td> </tr> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>堰 A</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>堰^{*6,7}</td> </tr> <tr> <td>容量^{*3}</td> <td>m³</td> <td>0.64 以上</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—^{*8}</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内のり</td> <td>mm</td> <td>1900 以上 × 5700 以上</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>150 以上</td> </tr> <tr> <td>堰本体</td> <td>—</td> <td>コンクリート^{*9}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*4}</td> <td>区画</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>高放射性廃水処理系^{*7}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床 (室名称)^{*5}</td> <td>除染室</td> </tr> </table> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> *1：記載の適正化。既設工認には「機器名」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *6：建物（中央操作棟）の一部として設計する。 *7：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *8：高放射性廃水処理系のウラン廃水は、洗缶設備の空のシリンダ類（16 kg-U 以下）の洗浄水であり、臨界管理の対象外であるため、「—」とする。 *9：堰の内面には、液体状の核燃料物質等が漏えいし難い樹脂塗装を施す設計とする。 		変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	堰 A	種類 ^{*2}	—	堰 ^{*6,7}	容量 ^{*3}	m ³	0.64 以上	臨界管理	—	— ^{*8}	主要寸法			内のり	mm	1900 以上 × 5700 以上	高さ	mm	150 以上	堰本体	—	コンクリート ^{*9}	個数 ^{*4}	区画	1	取付箇所	系統名 (ライン名)	高放射性廃水処理系 ^{*7}		設置床 (室名称) ^{*5}	除染室	<p>要求事項の整理</p> <table border="1"> <tr> <td>技術基準</td> <td>機能要求② 様式-6,7</td> <td>主な仕様 (詳細設計)</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td> ○液体廃棄物の漏えい防止 管理廃水処理設備の貯槽類は、廃水の漏えいを防止するとともに、万一、漏えいした場合でも、漏えいの拡大を防止する設計とする。 ・床上設置の貯槽類の周辺には必要に応じて堰を設ける。また、IF₃の保管場所の周辺には、堰等を設ける。 ・貯槽類の周辺及び IF₃の保管場所の周辺の床の全面及び汚染のおそれのある範囲の壁を樹脂塗装等により平滑に仕上げ、除染しやすい構造とする。 </td> <td> 主要寸法 主要材料 樹脂塗装を施す設計 </td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td> ○火災の発生防止 ・UF₃を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。 </td> <td>主要材料</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第十条 閉じ込めの機能	○液体廃棄物の漏えい防止 管理廃水処理設備の貯槽類は、廃水の漏えいを防止するとともに、万一、漏えいした場合でも、漏えいの拡大を防止する設計とする。 ・床上設置の貯槽類の周辺には必要に応じて堰を設ける。また、IF ₃ の保管場所の周辺には、堰等を設ける。 ・貯槽類の周辺及び IF ₃ の保管場所の周辺の床の全面及び汚染のおそれのある範囲の壁を樹脂塗装等により平滑に仕上げ、除染しやすい構造とする。	主要寸法 主要材料 樹脂塗装を施す設計	第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₃ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料	<p>3 堰その他の設備に係る次の事項</p> <p>(2) 原子伊格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰（放射性廃棄物運搬容器にあっては、流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する設備）の名称、主要寸法、材料及び取付箇所並びに床面及び壁面の塗装の範囲及び材料</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>変更前</td> <td>変更後</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>キャスク搬出入用 出入口</td> <td>キャスク搬出入用 出入口^{*1}</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰の高さ</td> <td>mm</td> <td>150 以上^{*3, *6}</td> </tr> <tr> <td>床面及び壁面の塗装の範囲^{*4}</td> <td>—</td> <td>床面及び床面から堰の高さ以上までの壁面</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰</td> <td>—</td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td>床面及び壁面の塗装^{*4}</td> <td>—</td> <td>エポキシ樹脂</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL. 8.30 m^{*5}</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> *1：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。 *2：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に使用する場合は事項を記載。 *3：EL. 8.30 m からの高さ。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「床・壁の塗装」と記載。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サイトバンカトラックエリア（一階）」と記載。 *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「15 cm 以上」と記載。 		変更前	変更後	名称	キャスク搬出入用 出入口	キャスク搬出入用 出入口 ^{*1}	種類 ^{*2}	—	堰	主要寸法			堰の高さ	mm	150 以上 ^{*3, *6}	床面及び壁面の塗装の範囲 ^{*4}	—	床面及び床面から堰の高さ以上までの壁面	材料			堰	—	鉄筋コンクリート	床面及び壁面の塗装 ^{*4}	—	エポキシ樹脂	取付箇所			系統名 (ライン名)	—	—	設置床	—	EL. 8.30 m ^{*5}	溢水防護上の区画番号	—	—	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	<p>備考</p> <p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（区画、高さ等）は記載していない。</p>
設備機器名称	堰				区分	液体廃棄物の廃棄設備																																																																																																																															
台数	一式																																																																																																																																				
設置場所	除染室	管理廃水処理室																																																																																																																																			
設計条件	臨界管理 放射線防護 耐震 第 2 類* 材料・構造 (温度、圧力) 主要設備リストで展開。																																																																																																																																				
仕様	型式 主要寸法 堰A 内のり：1900 mm以上 × 5700 mm以上 高さ：150 mm以上 堰B 内のり：10000 mm以上 × 4000 mm以上 高さ：25 mm以上 堰C 内のり：4200 mm以上 × 23000 mm以上 高さ：90 mm以上 堰D 内のり：16000 mm以上 × 40000 mm以上 高さ：30 mm以上 主要材料 コンクリート 性能 容量：0.64m ³ 以上 容量：0.71m ³ 以上 容量：5.87m ³ 以上 容量：9.88m ³ 以上 核燃料物質の状態 その他 *：建物の一部として設計している。																																																																																																																																				
添付図	図-49、図-50																																																																																																																																				
	変更前	変更後																																																																																																																																			
名称 ^{*1}	—	堰 A																																																																																																																																			
種類 ^{*2}	—	堰 ^{*6,7}																																																																																																																																			
容量 ^{*3}	m ³	0.64 以上																																																																																																																																			
臨界管理	—	— ^{*8}																																																																																																																																			
主要寸法																																																																																																																																					
内のり	mm	1900 以上 × 5700 以上																																																																																																																																			
高さ	mm	150 以上																																																																																																																																			
堰本体	—	コンクリート ^{*9}																																																																																																																																			
個数 ^{*4}	区画	1																																																																																																																																			
取付箇所	系統名 (ライン名)	高放射性廃水処理系 ^{*7}																																																																																																																																			
	設置床 (室名称) ^{*5}	除染室																																																																																																																																			
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																			
第十条 閉じ込めの機能	○液体廃棄物の漏えい防止 管理廃水処理設備の貯槽類は、廃水の漏えいを防止するとともに、万一、漏えいした場合でも、漏えいの拡大を防止する設計とする。 ・床上設置の貯槽類の周辺には必要に応じて堰を設ける。また、IF ₃ の保管場所の周辺には、堰等を設ける。 ・貯槽類の周辺及び IF ₃ の保管場所の周辺の床の全面及び汚染のおそれのある範囲の壁を樹脂塗装等により平滑に仕上げ、除染しやすい構造とする。	主要寸法 主要材料 樹脂塗装を施す設計																																																																																																																																			
第十一条 火災等による損傷の防止	○火災の発生防止 ・UF ₃ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																																			
	変更前	変更後																																																																																																																																			
名称	キャスク搬出入用 出入口	キャスク搬出入用 出入口 ^{*1}																																																																																																																																			
種類 ^{*2}	—	堰																																																																																																																																			
主要寸法																																																																																																																																					
堰の高さ	mm	150 以上 ^{*3, *6}																																																																																																																																			
床面及び壁面の塗装の範囲 ^{*4}	—	床面及び床面から堰の高さ以上までの壁面																																																																																																																																			
材料																																																																																																																																					
堰	—	鉄筋コンクリート																																																																																																																																			
床面及び壁面の塗装 ^{*4}	—	エポキシ樹脂																																																																																																																																			
取付箇所																																																																																																																																					
系統名 (ライン名)	—	—																																																																																																																																			
設置床	—	EL. 8.30 m ^{*5}																																																																																																																																			
溢水防護上の区画番号	—	—																																																																																																																																			
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—																																																																																																																																			

仕様表記載項目【機種 No. 23 : 飛来物防護設備】(竜巻防護扉)

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																														
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<p>1.7 竜巻防護設備 a. 飛来物防護設備</p> <table border="1" data-bbox="736 317 1353 758"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td>竜巻防護扉</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>—</td> <td>手動片開き式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>218.3^{*1}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>850^{*1}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1926^{*1}</td> </tr> <tr> <td>表側鋼板厚さ</td> <td>mm</td> <td>8.2以上(16^{*1})</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>表側鋼板</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>枚</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>—^{*2}</td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 系統区別を必要としないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称		—	竜巻防護扉	種類		—	手動片開き式	主要寸法	たて	mm	218.3 ^{*1}	横	mm	850 ^{*1}	高さ	mm	1926 ^{*1}	表側鋼板厚さ	mm	8.2以上(16 ^{*1})	主要材料	表側鋼板	—	SUS304	個数	枚	1	取付箇所	系統名(ライン名)	—	— ^{*2}	設置床(室名称)	—	2号発回均質室	<table border="1" data-bbox="1383 296 1982 1146"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th>様式-6,7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第八条 外部からの衝撃による損傷の防止</td> <td> <p>○竜巻防護設計</p> <p>(1) 建屋により防護する施設 「建屋により防護する施設」(2号発回均質棟)については、建屋が設計荷重による影響を受けない設計とする。具体的には、建屋は、設計荷重に対して主架構の構造健全性が維持されるとともに、個々の部材の破損により本施設内の竜巻防護施設が閉じ込め機能を損なわない設計とする。設計飛来物の衝突に対しては、貫通が防止でき、かつ、衝撃荷重に対して健全性が確保できる設計とする。</p> <p>建屋により防護する施設を収納する2号発回均質棟の開口部(扉, ジャック)のうち、設計飛来物の進入により均質槽の安全機能に影響を与え得るおそれのある開口部(扉, ジャック)には、防護板等により設計飛来物の進入を防止する設計とする。</p> <p>a. 設計飛来物の貫通を防止することができる又は設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計とする。</p> <p>b. 建屋及び設備の耐震性に影響を与えない設計とする。</p> <p>c. 竜巻防護施設の安全機能に影響を与えない設計とする。</p> <p>d. 保守・点検及び資機材等の搬出入を考慮した設計とする。</p> </td> <td> <p>主要寸法</p> <p>主要材料</p> </td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7	第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	<p>○竜巻防護設計</p> <p>(1) 建屋により防護する施設 「建屋により防護する施設」(2号発回均質棟)については、建屋が設計荷重による影響を受けない設計とする。具体的には、建屋は、設計荷重に対して主架構の構造健全性が維持されるとともに、個々の部材の破損により本施設内の竜巻防護施設が閉じ込め機能を損なわない設計とする。設計飛来物の衝突に対しては、貫通が防止でき、かつ、衝撃荷重に対して健全性が確保できる設計とする。</p> <p>建屋により防護する施設を収納する2号発回均質棟の開口部(扉, ジャック)のうち、設計飛来物の進入により均質槽の安全機能に影響を与え得るおそれのある開口部(扉, ジャック)には、防護板等により設計飛来物の進入を防止する設計とする。</p> <p>a. 設計飛来物の貫通を防止することができる又は設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計とする。</p> <p>b. 建屋及び設備の耐震性に影響を与えない設計とする。</p> <p>c. 竜巻防護施設の安全機能に影響を与えない設計とする。</p> <p>d. 保守・点検及び資機材等の搬出入を考慮した設計とする。</p>	<p>主要寸法</p> <p>主要材料</p>	<p><発電炉要目表なし></p> <p>以下発電炉の基本設計方針抜粋</p> <p>2.3.3 設計方針</p> <p>(中略)</p> <p>防護措置として設置する防護対策施設としては、防護ネット(硬鋼線材:線径φ4mm, 網目寸法40mm), 防護鋼板(炭素鋼:板厚16mm以上), 架構及び扉(炭素鋼:板厚31.2mm以上)を設置し、内包する外部事象防護対象施設の機能を損なわないよう、外部事象防護対象施設の機能喪失に至る可能性のある飛来物が外部事象防護対象施設に衝突することを防止する設計とする。</p>	
		変更前	変更後																																															
名称		—	竜巻防護扉																																															
種類		—	手動片開き式																																															
主要寸法	たて	mm	218.3 ^{*1}																																															
	横	mm	850 ^{*1}																																															
	高さ	mm	1926 ^{*1}																																															
	表側鋼板厚さ	mm	8.2以上(16 ^{*1})																																															
主要材料	表側鋼板	—	SUS304																																															
	個数	枚	1																																															
取付箇所	系統名(ライン名)	—	— ^{*2}																																															
	設置床(室名称)	—	2号発回均質室																																															
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																
	様式-6,7																																																	
第八条 外部からの衝撃による損傷の防止	<p>○竜巻防護設計</p> <p>(1) 建屋により防護する施設 「建屋により防護する施設」(2号発回均質棟)については、建屋が設計荷重による影響を受けない設計とする。具体的には、建屋は、設計荷重に対して主架構の構造健全性が維持されるとともに、個々の部材の破損により本施設内の竜巻防護施設が閉じ込め機能を損なわない設計とする。設計飛来物の衝突に対しては、貫通が防止でき、かつ、衝撃荷重に対して健全性が確保できる設計とする。</p> <p>建屋により防護する施設を収納する2号発回均質棟の開口部(扉, ジャック)のうち、設計飛来物の進入により均質槽の安全機能に影響を与え得るおそれのある開口部(扉, ジャック)には、防護板等により設計飛来物の進入を防止する設計とする。</p> <p>a. 設計飛来物の貫通を防止することができる又は設計飛来物の運動エネルギーを吸収することができる設計とする。</p> <p>b. 建屋及び設備の耐震性に影響を与えない設計とする。</p> <p>c. 竜巻防護施設の安全機能に影響を与えない設計とする。</p> <p>d. 保守・点検及び資機材等の搬出入を考慮した設計とする。</p>	<p>主要寸法</p> <p>主要材料</p>																																																

仕様表記載項目【機種 No. 24：ラック】（製品シリンダ置台（充填））

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																														
<p>【認可番号：平成6年12月15日付け 6安（核規）第665号】</p> <p>表-2 貯蔵設備の仕様（製品シリンダ置台（充填））</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>製品シリンダ置台（充填）</td> <td>区分</td> <td>貯蔵設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>156組（2個/組）</td> <td></td> <td>89組（2個/組）</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>Bウラン貯蔵庫</td> <td></td> <td>Aウラン貯蔵庫</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td colspan="3">製品シリンダ置台（充填）に積載する製品シリンダ（充填）の相互間隔80cm以上</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td colspan="3">第1類</td> </tr> <tr> <td>材料・構造（温度、圧力）</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td colspan="3">（積載物：製品シリンダ（充填）（ANSI規格30B）1本/組）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>幅：100mm</td> <td colspan="2">該当しないため、記載を削除。</td> </tr> <tr> <td>全長：700mm</td> <td colspan="2">主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>高さ：177mm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="3">炭素鋼（SS400）</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td colspan="3">Aウラン貯蔵庫内の製品シリンダ置台（充填）は、既認可済の55組を含め、合計144組となる。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-2、図-6</td> <td>図-2、図-8</td> <td></td> </tr> </table> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p>	設備機器名称	製品シリンダ置台（充填）	区分	貯蔵設備	台数	156組（2個/組）		89組（2個/組）	設置場所	Bウラン貯蔵庫		Aウラン貯蔵庫	臨界管理	製品シリンダ置台（充填）に積載する製品シリンダ（充填）の相互間隔80cm以上			放射線防護	—			耐震	第1類			材料・構造（温度、圧力）	—			型式	（積載物：製品シリンダ（充填）（ANSI規格30B）1本/組）			主要寸法	幅：100mm	該当しないため、記載を削除。		全長：700mm	主要設備リストで展開。		高さ：177mm			主要材料	炭素鋼（SS400）			性能	—			核燃料物質の状態	—			その他	Aウラン貯蔵庫内の製品シリンダ置台（充填）は、既認可済の55組を含め、合計144組となる。			—			添付図	図-2、図-6	図-2、図-8		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>製品シリンダ置台（充填）</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>—^{*5}</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>本/組</td> <td>1^{*6}</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>他ユニットとの相互間隔</td> <td>cm 30以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm 700^{*7}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 100^{*7}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm 177^{*7}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>本体</td> <td>炭素鋼^{*8}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*3}</td> <td>組</td> <td>300（2個/組）^{*9}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—^{*10}</td> </tr> <tr> <td>設置床（室名称）^{*4}</td> <td>Aウラン貯蔵室 Bウラン貯蔵室</td> </tr> </tbody> </table> <p>変更なし</p> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *5：種別を必要としないため「—」とする。 *6：製品シリンダ（ANSI又はISO規格30B）1本/組、廃品シリンダ（ANSI又はISO規格30B）1本/組及び付着ウラン回収容器1本/組を積載する（最大貯蔵能力：300本）。 *7：公称値を示す。 *8：UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *9：Aウラン貯蔵室の個数144組とBウラン貯蔵室の個数156組の合計300組のうち、12組は付着ウラン回収容器置台と兼用する。また、Aウラン貯蔵室及びBウラン貯蔵室における廃品シリンダ（ANSI又はISO規格30B）は、合計が3t-U以下とする。 *10：系統区別を必要としないため「—」とする。</p>		変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	製品シリンダ置台（充填）	種類 ^{*2}	—	— ^{*5}	容量	本/組	1 ^{*6}	臨界管理	他ユニットとの相互間隔	cm 30以上	主要寸法	たて	mm 700 ^{*7}	横	mm 100 ^{*7}	高さ	mm 177 ^{*7}	主要材料	本体	炭素鋼 ^{*8}	個数 ^{*3}	組	300（2個/組） ^{*9}	取付箇所	系統名（ライン名）	— ^{*10}	設置床（室名称） ^{*4}	Aウラン貯蔵室 Bウラン貯蔵室	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 （詳細設計）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td> <td>○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が0.95以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界となるおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が30cm以上となるように配置する。</td> <td>他ユニットとの相互間隔</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等に よる損傷 の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 （詳細設計）	第四条 核燃料物質の臨界防止	○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が0.95以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界となるおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が30cm以上となるように配置する。	他ユニットとの相互間隔	第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>使用済燃料貯蔵ラック</td> <td>○○○式</td> <td>使用済燃料貯蔵ラック^{*5}</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>○○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>中心間距離</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>内り</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>材</td> <td>料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：公称値を示す。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書にはベースを含む高さである「○○」と記載。記載内容は、設計図書による。 *3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 年 月 日付け 資序第○○号にて認可された工事計画の添付書類「○○○○○○○○○○」による。 *4：別紙「○○○○○○○○規格表」参照。 *5：「○○○○○○○○設備（○○○○○○系、○○○○○○系）」と兼用する。</p>			変更前	変更後	名称	使用済燃料貯蔵ラック	○○○式	使用済燃料貯蔵ラック ^{*5}	種類	—	○○	—	容	量	—	—	主要寸法	高さ	mm	変更なし	中心間距離	mm	内り	mm	厚さ	mm	—	材	料	—	—	個	数	—	—	<p>備考</p>
設備機器名称	製品シリンダ置台（充填）	区分	貯蔵設備																																																																																																																																															
台数	156組（2個/組）		89組（2個/組）																																																																																																																																															
設置場所	Bウラン貯蔵庫		Aウラン貯蔵庫																																																																																																																																															
臨界管理	製品シリンダ置台（充填）に積載する製品シリンダ（充填）の相互間隔80cm以上																																																																																																																																																	
放射線防護	—																																																																																																																																																	
耐震	第1類																																																																																																																																																	
材料・構造（温度、圧力）	—																																																																																																																																																	
型式	（積載物：製品シリンダ（充填）（ANSI規格30B）1本/組）																																																																																																																																																	
主要寸法	幅：100mm	該当しないため、記載を削除。																																																																																																																																																
	全長：700mm	主要設備リストで展開。																																																																																																																																																
	高さ：177mm																																																																																																																																																	
主要材料	炭素鋼（SS400）																																																																																																																																																	
性能	—																																																																																																																																																	
核燃料物質の状態	—																																																																																																																																																	
その他	Aウラン貯蔵庫内の製品シリンダ置台（充填）は、既認可済の55組を含め、合計144組となる。																																																																																																																																																	
	—																																																																																																																																																	
添付図	図-2、図-6	図-2、図-8																																																																																																																																																
	変更前	変更後																																																																																																																																																
名称 ^{*1}	—	製品シリンダ置台（充填）																																																																																																																																																
種類 ^{*2}	—	— ^{*5}																																																																																																																																																
容量	本/組	1 ^{*6}																																																																																																																																																
臨界管理	他ユニットとの相互間隔	cm 30以上																																																																																																																																																
主要寸法	たて	mm 700 ^{*7}																																																																																																																																																
	横	mm 100 ^{*7}																																																																																																																																																
	高さ	mm 177 ^{*7}																																																																																																																																																
主要材料	本体	炭素鋼 ^{*8}																																																																																																																																																
個数 ^{*3}	組	300（2個/組） ^{*9}																																																																																																																																																
取付箇所	系統名（ライン名）	— ^{*10}																																																																																																																																																
	設置床（室名称） ^{*4}	Aウラン貯蔵室 Bウラン貯蔵室																																																																																																																																																
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 （詳細設計）																																																																																																																																																
第四条 核燃料物質の臨界防止	○複数ユニットの臨界安全設計 複数ユニットは実効増倍率が0.95以下となる配置とし、機器同士が接触しても臨界となるおそれはないが、安全設計上の管理として次の対応を行う。 ・コールドトラップ、製品シリンダ、中間製品容器及び減圧槽は、それぞれ他のユニットと相互の間隔が30cm以上となるように配置する。	他ユニットとの相互間隔																																																																																																																																																
第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																																																
		変更前	変更後																																																																																																																																															
名称	使用済燃料貯蔵ラック	○○○式	使用済燃料貯蔵ラック ^{*5}																																																																																																																																															
種類	—	○○	—																																																																																																																																															
容	量	—	—																																																																																																																																															
主要寸法	高さ	mm	変更なし																																																																																																																																															
	中心間距離	mm																																																																																																																																																
	内り	mm																																																																																																																																																
厚さ	mm	—																																																																																																																																																
材	料	—	—																																																																																																																																															
個	数	—	—																																																																																																																																															

仕様表記載項目【機種 No. 25：溢水防護設備】（溢水防護堰（固定式））

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																		
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<p>1.6 溢水防護設備 a. 溢水防護設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td></td> <td>溢水防護堰（固定式）</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>固定式</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>100 以上</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>堰本体</td> <td>—</td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個数</td> <td>基</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>設置床（室名称）</td> <td>—</td> <td>1号中間室, 2号中間室, 1号発生回収室, 1号均質室, 2号発回均質室, ホット予備品室, 付着ウラン回収廃棄物室</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*3</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：系統区別を必要としないため「—」とする。 *2：溢水防護上の区画番号を設定していないことから「—」とする。 *3：溢水による火災の発生の可能性のある機器またはプラント監視に用いる機器ではないことから溢水防護上の配慮が必要な高さは「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称	—		溢水防護堰（固定式）	種類	—		固定式	主要寸法	高さ	mm	100 以上	主要材料	堰本体	—	ステンレス鋼		個数	基	18	取付箇所	系統名（ライン名）	—	—*1	設置床（室名称）	—	1号中間室, 2号中間室, 1号発生回収室, 1号均質室, 2号発回均質室, ホット予備品室, 付着ウラン回収廃棄物室	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>様式-6,7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水による損傷の防止</td> <td>○溢水防護対策 想定される内部溢水に対して以下の対策を講じる。 ・第1種管理区域内の溢水が、所定の放出経路を 通らずに建屋外へ漏えいしないよう扉部に堰等を 設置する設計とする。 なお、堰の高さについては、水面の変動を考慮し た溢水高さを確保する設計とする。</td> <td>設置床（室名称） 主要寸法</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)		様式-6,7		第十二条 溢水による損傷の防止	○溢水防護対策 想定される内部溢水に対して以下の対策を講じる。 ・第1種管理区域内の溢水が、所定の放出経路を 通らずに建屋外へ漏えいしないよう扉部に堰等を 設置する設計とする。 なお、堰の高さについては、水面の変動を考慮し た溢水高さを確保する設計とする。	設置床（室名称） 主要寸法	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>原子炉建屋原子炉棟溢水 拡大防止堰 B1-1</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>堰</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>—</td> <td></td> <td>300 以上*</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>堰</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>鉄筋コンクリート</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>EL. 2.00 m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：EL. 2.00 mからの高さ。</p>					変更前	変更後	名称		—			原子炉建屋原子炉棟溢水 拡大防止堰 B1-1	種類	—	—			堰	主要寸法	高さ	mm	—		300 以上*	材料	堰	—			鉄筋コンクリート	取付箇所	系統名 (ライン名)	—			—	設置床	—			EL. 2.00 m	溢水防護上の 区画番号	—			—		溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			—	
		変更前	変更後																																																																																																			
名称	—		溢水防護堰（固定式）																																																																																																			
種類	—		固定式																																																																																																			
主要寸法	高さ	mm	100 以上																																																																																																			
主要材料	堰本体	—	ステンレス鋼																																																																																																			
	個数	基	18																																																																																																			
取付箇所	系統名（ライン名）	—	—*1																																																																																																			
	設置床（室名称）	—	1号中間室, 2号中間室, 1号発生回収室, 1号均質室, 2号発回均質室, ホット予備品室, 付着ウラン回収廃棄物室																																																																																																			
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																																																																																			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3																																																																																																			
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																				
	様式-6,7																																																																																																					
第十二条 溢水による損傷の防止	○溢水防護対策 想定される内部溢水に対して以下の対策を講じる。 ・第1種管理区域内の溢水が、所定の放出経路を 通らずに建屋外へ漏えいしないよう扉部に堰等を 設置する設計とする。 なお、堰の高さについては、水面の変動を考慮し た溢水高さを確保する設計とする。	設置床（室名称） 主要寸法																																																																																																				
				変更前	変更後																																																																																																	
名称		—			原子炉建屋原子炉棟溢水 拡大防止堰 B1-1																																																																																																	
種類	—	—			堰																																																																																																	
主要寸法	高さ	mm	—		300 以上*																																																																																																	
材料	堰	—			鉄筋コンクリート																																																																																																	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			—																																																																																																	
	設置床	—			EL. 2.00 m																																																																																																	
	溢水防護上の 区画番号	—			—																																																																																																	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			—																																																																																																	

仕様表記載項目【機種 No. 27：搬送設備】（天井走行クレーン A, B, C）

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																										
<p>【認可番号：平成元年8月17日付け 元安（核規）第376号】</p> <p>表-1 搬送設備の仕様（ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C</td> <td>区分</td> <td>搬送設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>3基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>ウラン貯蔵庫</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td></td> <td>主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第3類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造（温度、圧力）</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>ホイスト式（定格荷重：16t）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>スパン：約10460mm サドルホイルベース：約4800mm</td> <td></td> <td>該当しないため、記載を削除。</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼（SS41）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(1) シリンダ類の最下面までの吊上げ高さは、高さ制限機構により、1.2m以下に制限する。 (2) 電源喪失により動力の供給が停止した場合は、そのままの状態でもシリンダ類を保持する。 (3) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第1類の静的地震力を用いてクレーン及びホイストの転倒評価を行う。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-1、図-7</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>事業変更許可において、本機器は第3類から第1類へ変更したため、記載を削除。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除。</p>	設備機器名称	ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C	区分	搬送設備	台数	3基			設置場所	ウラン貯蔵庫			臨界管理	—		主要設備リストで展開。	放射線防護	—			耐震	第3類			材料・構造（温度、圧力）	—			型式	ホイスト式（定格荷重：16t）			主要寸法	スパン：約10460mm サドルホイルベース：約4800mm		該当しないため、記載を削除。	主要材料	炭素鋼（SS41）			性能	—			核燃料物質の状態	—			その他	(1) シリンダ類の最下面までの吊上げ高さは、高さ制限機構により、1.2m以下に制限する。 (2) 電源喪失により動力の供給が停止した場合は、そのままの状態でもシリンダ類を保持する。 (3) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第1類の静的地震力を用いてクレーン及びホイストの転倒評価を行う。			添付図	図-1、図-7			<p>1.2 搬送設備</p> <p>a. 搬送設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>天井走行クレーン A, B, C^{*5, *6}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>ホイスト式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量（定格荷重）</td> <td>t</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—^{*7}</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>スパン mm</td> <td>10460^{*8}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サドルホイルベース mm</td> <td>4800^{*8}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*9}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*3}</td> <td>基</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—^{*10}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床（室名称）^{*4}</td> <td>A ウラン貯蔵室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *5：本機器は、吊り上げ高さを床上より1.2m以下に制限する機能及び外部電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を有する設計とする。 *6：その他の構成機器として、吊り具を有する設計とする。 *7：シリンダ類の運搬中に他のシリンダ類と接触した場合においても臨界とならないことから臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *8：公称値を示す。 *9：UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *10：系統区別を必要としないため「—」とする。 		変更前	変更後	名称 ^{*1}	天井走行クレーン A, B, C ^{*5, *6}		種類 ^{*2}	ホイスト式		容量（定格荷重）	t	16	臨界管理	—	— ^{*7}	主要寸法	スパン mm	10460 ^{*8}		サドルホイルベース mm	4800 ^{*8}	主要材料	—	炭素鋼 ^{*9}	個数 ^{*3}	基	3	取付箇所	系統名（ライン名）	— ^{*10}		設置床（室名称） ^{*4}	A ウラン貯蔵室	<table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様（詳細設計）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十一条</td> <td>○火災の発生防止 火災等による損傷の防止</td> <td>主要材料</td> </tr> <tr> <td>第十六条</td> <td>○搬送設備 搬送設備</td> <td>容量（定格荷重）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>天井走行クレーンにはUF₆シリンダ類及び付着ウラン回収容器を、落下試験により閉じ込め性を維持できることを確認した高さ（シリンダ1段積みで1.2m及びシリンダ2段積みで1.85m）以上に吊り上げることを防止する吊り上げ高さ制限インターロック及び電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を設ける設計とする。</td> <td>吊り上げ制限高さ 吊り上げ状態維持</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様（詳細設計）	第十一条	○火災の発生防止 火災等による損傷の防止	主要材料	第十六条	○搬送設備 搬送設備	容量（定格荷重）		天井走行クレーンにはUF ₆ シリンダ類及び付着ウラン回収容器を、落下試験により閉じ込め性を維持できることを確認した高さ（シリンダ1段積みで1.2m及びシリンダ2段積みで1.85m）以上に吊り上げることを防止する吊り上げ高さ制限インターロック及び電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を設ける設計とする。	吊り上げ制限高さ 吊り上げ状態維持	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>変 更 前</th> <th>変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>○○○</td> <td>○○○ f式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容 量</td> <td>主 巻</td> <td>○○○</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>補 巻</td> <td>○○○</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法</td> <td>走行レール間距離</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード距離</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード幅</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン本体ガード高さ</td> <td>mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料</td> <td>ガ</td> <td>—</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>ダ</td> <td>—</td> <td>○○○</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td>○○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名（ライン名）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL. m^{*2}</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> *1：公称値を示す。 *2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 年 月 日 付け平成 資第 号にて認可された工事計画の添付図面「第 図 構造図」による。 *3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 年 月 日 付け平成11・06・25資第1号にて認可された工事計画の添付書類「 」による。 	名 称		変 更 前	変 更 後	種 類	—	○○○	○○○ f式	容 量	主 巻	○○○	○○○	補 巻	○○○	○○○	主 要 寸 法	走行レール間距離	mm		クレーン本体ガード距離	mm		クレーン本体ガード幅	mm		クレーン本体ガード高さ	mm		材 料	ガ	—	○○○	ダ	—	○○○	個 数	—	○○○		取 付 箇 所	系 統 名（ライン名）	—		設置床	—	EL. m ^{*2}	溢水防護上の区画番号	—			溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		<p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（区画、高さ等）は記載していない。</p>
設備機器名称	ウラン貯蔵建屋天井走行クレーンA、B、C	区分	搬送設備																																																																																																																																																											
台数	3基																																																																																																																																																													
設置場所	ウラン貯蔵庫																																																																																																																																																													
臨界管理	—		主要設備リストで展開。																																																																																																																																																											
放射線防護	—																																																																																																																																																													
耐震	第3類																																																																																																																																																													
材料・構造（温度、圧力）	—																																																																																																																																																													
型式	ホイスト式（定格荷重：16t）																																																																																																																																																													
主要寸法	スパン：約10460mm サドルホイルベース：約4800mm		該当しないため、記載を削除。																																																																																																																																																											
主要材料	炭素鋼（SS41）																																																																																																																																																													
性能	—																																																																																																																																																													
核燃料物質の状態	—																																																																																																																																																													
その他	(1) シリンダ類の最下面までの吊上げ高さは、高さ制限機構により、1.2m以下に制限する。 (2) 電源喪失により動力の供給が停止した場合は、そのままの状態でもシリンダ類を保持する。 (3) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第1類の静的地震力を用いてクレーン及びホイストの転倒評価を行う。																																																																																																																																																													
添付図	図-1、図-7																																																																																																																																																													
	変更前	変更後																																																																																																																																																												
名称 ^{*1}	天井走行クレーン A, B, C ^{*5, *6}																																																																																																																																																													
種類 ^{*2}	ホイスト式																																																																																																																																																													
容量（定格荷重）	t	16																																																																																																																																																												
臨界管理	—	— ^{*7}																																																																																																																																																												
主要寸法	スパン mm	10460 ^{*8}																																																																																																																																																												
	サドルホイルベース mm	4800 ^{*8}																																																																																																																																																												
主要材料	—	炭素鋼 ^{*9}																																																																																																																																																												
個数 ^{*3}	基	3																																																																																																																																																												
取付箇所	系統名（ライン名）	— ^{*10}																																																																																																																																																												
	設置床（室名称） ^{*4}	A ウラン貯蔵室																																																																																																																																																												
技術基準	機能要求②	主な仕様（詳細設計）																																																																																																																																																												
第十一条	○火災の発生防止 火災等による損傷の防止	主要材料																																																																																																																																																												
第十六条	○搬送設備 搬送設備	容量（定格荷重）																																																																																																																																																												
	天井走行クレーンにはUF ₆ シリンダ類及び付着ウラン回収容器を、落下試験により閉じ込め性を維持できることを確認した高さ（シリンダ1段積みで1.2m及びシリンダ2段積みで1.85m）以上に吊り上げることを防止する吊り上げ高さ制限インターロック及び電源喪失時に吊り上げ状態を維持する保持機能を設ける設計とする。	吊り上げ制限高さ 吊り上げ状態維持																																																																																																																																																												
名 称		変 更 前	変 更 後																																																																																																																																																											
種 類	—	○○○	○○○ f式																																																																																																																																																											
容 量	主 巻	○○○	○○○																																																																																																																																																											
	補 巻	○○○	○○○																																																																																																																																																											
主 要 寸 法	走行レール間距離	mm																																																																																																																																																												
	クレーン本体ガード距離	mm																																																																																																																																																												
	クレーン本体ガード幅	mm																																																																																																																																																												
	クレーン本体ガード高さ	mm																																																																																																																																																												
材 料	ガ	—	○○○																																																																																																																																																											
	ダ	—	○○○																																																																																																																																																											
個 数	—	○○○																																																																																																																																																												
取 付 箇 所	系 統 名（ライン名）	—																																																																																																																																																												
	設置床	—	EL. m ^{*2}																																																																																																																																																											
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																																																												
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																																																																																																												

仕様表記載項目【機種 No. 29：核物質等取扱ボックス】（除染ハウス）

既認可の仕様表	仕様表	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																				
<p>【認可番号：平成元年8月17日付け 元安（核規）第376号】</p> <p>表-2 その他の主要な設備の仕様（除染ハウス）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>除染ハウス</td> <td>区分</td> <td>除染設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>除染室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計条件</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td></td> <td>主要設備リストで展開。</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第3類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度：常温 圧力：—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仕様</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅：約7100mm 奥行：約4000mm 高さ：約4200mm</td> <td></td> <td>該当しないため、記載を削除。</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼(SS41)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>排気フード開口部の風速：0.5 m/s以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>ケミカルトラップ(NaF)のNaF交換作業、その他の機器の除染作業を行うための作業場の囲いとして設置する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-2、図-5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>基本設計方針で展開。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	設備機器名称	除染ハウス	区分	除染設備	台数	一式			設置場所	除染室			設計条件				臨界管理	—		主要設備リストで展開。	放射線防護	—			耐震	第3類			材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—			仕様				型式	—			主要寸法	幅：約7100mm 奥行：約4000mm 高さ：約4200mm		該当しないため、記載を削除。	主要材料	炭素鋼(SS41)			性能	排気フード開口部の風速：0.5 m/s以上			核燃料物質の状態	—			その他	ケミカルトラップ(NaF)のNaF交換作業、その他の機器の除染作業を行うための作業場の囲いとして設置する。			添付図	図-2、図-5			<p>e. 核物質等取扱ボックス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>除染ハウス</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>—^{*6}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>開口部風速 (排気フード)^{*3}</td> <td>m/s</td> <td>0.5以上</td> <td>—^{*11}</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—^{*7}</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4000^{*8}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>7085^{*8}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4150^{*8}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*9}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*4}</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—^{*10}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*5}</td> <td>—</td> <td>除染室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *6：種別を必要としないため「—」とする。 *7：本機器は、UF₆を取り扱う機器ではなく、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *8：公称値を示す。 *9：UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *10：系統区別を必要としないため「—」とする。 *11：除染ハウス内部の排気フードについては、これまでの機器点検等の実績を踏まえ、使用する用途がないこと及び今後も使用予定がないことから撤去する。</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	除染ハウス	変更なし	種類 ^{*2}	—	— ^{*6}	変更なし	開口部風速 (排気フード) ^{*3}	m/s	0.5以上	— ^{*11}	臨界管理	—	— ^{*7}		主要寸法	たて	mm	4000 ^{*8}	横	mm	7085 ^{*8}	高さ	mm	4150 ^{*8}	主要材料	本体	—	炭素鋼 ^{*9}	個数 ^{*4}	式	1	変更なし	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*10}	設置床 (室名称) ^{*5}	—	除染室	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <th>様式-6,7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十一条 火災等に よる損傷 の防止</td> <td>○火災の発生防止 ・UF₆を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。</td> <td>主要材料</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 除染ハウスはドラフトチェンバのような開口部を有するフードではなく、内部に人が入り、入口を閉めた状態で作業するものであり、「第十条 五号 密封されていない核燃料物質等を取り扱うフードは、その開口部の風速を適切に維持し得るものであること」は該当しない。また、ハウス内の可搬式の排気フードは、これまでの機器点検等の実績を踏まえ、使用する用途がないこと及び今後も使用予定がないことから撤去する。</p>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	様式-6,7	第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料	<p><発電炉要目表なし></p>	<p>備考</p>
設備機器名称	除染ハウス	区分	除染設備																																																																																																																					
台数	一式																																																																																																																							
設置場所	除染室																																																																																																																							
設計条件																																																																																																																								
臨界管理	—		主要設備リストで展開。																																																																																																																					
放射線防護	—																																																																																																																							
耐震	第3類																																																																																																																							
材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—																																																																																																																							
仕様																																																																																																																								
型式	—																																																																																																																							
主要寸法	幅：約7100mm 奥行：約4000mm 高さ：約4200mm		該当しないため、記載を削除。																																																																																																																					
主要材料	炭素鋼(SS41)																																																																																																																							
性能	排気フード開口部の風速：0.5 m/s以上																																																																																																																							
核燃料物質の状態	—																																																																																																																							
その他	ケミカルトラップ(NaF)のNaF交換作業、その他の機器の除染作業を行うための作業場の囲いとして設置する。																																																																																																																							
添付図	図-2、図-5																																																																																																																							
		変更前	変更後																																																																																																																					
名称 ^{*1}	—	除染ハウス	変更なし																																																																																																																					
種類 ^{*2}	—	— ^{*6}	変更なし																																																																																																																					
開口部風速 (排気フード) ^{*3}	m/s	0.5以上	— ^{*11}																																																																																																																					
臨界管理	—	— ^{*7}																																																																																																																						
主要寸法	たて	mm	4000 ^{*8}																																																																																																																					
	横	mm	7085 ^{*8}																																																																																																																					
	高さ	mm	4150 ^{*8}																																																																																																																					
主要材料	本体	—	炭素鋼 ^{*9}																																																																																																																					
個数 ^{*4}	式	1	変更なし																																																																																																																					
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*10}																																																																																																																					
	設置床 (室名称) ^{*5}	—	除染室																																																																																																																					
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																						
	様式-6,7																																																																																																																							
第十一条 火災等に よる損傷 の防止	○火災の発生防止 ・UF ₆ を内包する機器以外の機器については、可能な限り不燃性又は難燃性の材料（鋼材）を使用し、火災の発生を防止する設計とする。	主要材料																																																																																																																						

